

た

世界史 B 問題

はじめに、これを読むこと。

(注意事項)

1. この問題用紙は 11 ページある。ただし、ページ番号のない白紙はページ数に含まれない。
2. これは、世界史 B の問題である。解答用紙が出願時に選択した科目であるかどうか確認の上、解答すること。
3. 解答用紙の所定の欄に、必ず氏名を記入すること。
4. 解答用紙には受験番号が印刷されているので、受験番号が正しいかどうか、受験票と照合し確認すること。
5. 解答はすべて「解答用紙」の解答欄に記入またはマークすること。解答欄以外のところには何も記入しないこと。
6. 解答は、必ず鉛筆またはシャープペンシル(いずれも HB・黒)で記入すること。
7. 訂正は消しゴムできれいに消し、消しくずを残さないこと。
8. 解答用紙は、絶対に汚したり折り曲げたりしないこと。
9. 文字は一点一画まで正確に書くこと。
10. 解答用紙は持ちかえらないこと。
11. この問題用紙は必ず持ちかえること。
12. 試験時間は 60 分である。
13. マークの記入例

良い例	悪い例
	

〔 I 〕 次の文章を読み、空欄(ア～カ)に当てはまる語句を解答欄に記入しなさい。また、下線部(1～4)に対応した設問(1～4)に答えなさい。

17世紀に中国の東北部に起こった女真族の王朝である清朝は、第2代皇帝となる太宗(ホンタイジ)の時代に、内モンゴル(チャハル)を平定しモンゴル帝国のハンの地位を継承する一方で、朝鮮を属国にした。明の武将であった呉三桂は、⁽¹⁾万里の長城の東の起点とされる山海関で清軍と対峙していたが、順治帝の時代である1644年に、明が滅亡したため清軍に協力することになる。こうして清は北京に入りこれを都とした。

清は、当初は柔軟な方法で統治を行い、協力した漢人の武将には 、広東、福建の三藩の大幅な自治を認めていたが、1661年にはじまる康熙帝の時代になると、集権的な支配を強めたので に駐屯していた呉三桂らは反乱を起こした。三藩軍は当初は優勢であったが、清は最終的に三藩軍を鎮圧し、台湾も制圧した。

北方においては、南下してきたピョートル1世のロシアとたたかい、⁽²⁾国境を画定するために条約を結んだ。康熙帝は、亡くなる1722年まで、中国の歴代皇帝のなかで最も長く在位した。

次の雍正帝の時代には、清はチベット北部の青海地方を制圧し、外モンゴルにまで勢力を拡大することにより、再びロシア帝国との国境を画定する必要が生じ、1727年に 条約により国境を定めた。雍正帝は、前後の二人の皇帝に比べると、その治世は短かったが、皇帝直属の軍事・行政最高機関である を設置するなど、統治制度を整えた。また康熙帝の時代から編纂がはじまった中国史上最大規模の類書(百科事典)である も完成させた。

乾隆帝の時代になると、清は西方にさらに拡大し、18世紀半ばには天山山脈北方の 盆地と南方のタリム盆地を含む、東トルキスタンのオイラト系の 部を制圧し、トルコ系諸民族(主にウイグル人)が多く住むこの地を「新疆」(新しい領土)と名付けた。

清は、藩部であるモンゴル・青海・チベット・新疆ではその有力者に統治をゆだね、中央の に統括させ、宗教には干渉せずにチベット仏教などを手

厚く保護した。また清朝は、イエズス会の宣教師を技術者などとして重用し、またそれにより当時の中国の⁽³⁾優れた文化が西欧に知られることとなった。⁽⁴⁾

設問 1 下線部(1)の朝鮮についての説明のうち正しいものをひとつ選び、その記号を解答欄にマークしなさい。

- A. 初代の王である李成桂は、都を開城とした。
- B. 科挙制度を廃止したため、両班といわれる有力な家柄により官僚の大部分が占められることとなった。
- C. 世宗が制定した訓民正音として知られる音標文字は、知識人を中心に広く普及し、漢字はほとんど使われなくなっていった。
- D. 李成桂は、理気説と呼ばれる二元論などにより客観性や上下関係の秩序を重んじる朱子学を官学とした。

設問 2 下線部(2)のピョートル 1 世の治世のロシアについての説明のうち正しいものをひとつ選び、その記号を解答欄にマークしなさい。

- A. 航行中ロシアに漂着した大黒屋光太夫が、ピョートル 1 世に謁見した。
- B. ロシアの軍人であるラクスマンが根室に来航し、通商を求めた。
- C. 北方戦争で、デンマーク・ポーランドと結んで、スウェーデンを破り、バルト海の覇権をにぎった。
- D. ドン＝コサックの首領であるステンカ＝ラージンに率いられた農民反乱に苦しんだ。

設問 3 下線部(3)のイエズス会の宣教師についての説明のうち正しいものをひとつ選び、その記号を解答欄にマークしなさい。

- A. アダム＝シャルは、ドイツ出身で、乾隆帝の時代に徐光啓らと「時憲曆」を制定し、天文台長官である欽天監正として活躍した。
- B. カスティリオーネは、イタリア出身で、画家として西洋画法を紹介し、上海郊外の円明園の設計もした。
- C. ブーヴェは、フランス出身で、中国最初の実測地図である『皇輿全覽図』の作成に加わった。
- D. フェルビーストは、イタリア出身で、暦法や大砲鑄造などを教えた。

設問 4 下線部(4)について、下記の文学作品のうち、清の時代に書かれたものをひとつ選び、その記号を解答欄にマークしなさい。

- A. 『紅樓夢』
- B. 『水滸伝』
- C. 『三国志演義』
- D. 『西遊記』

〔Ⅱ〕 次の文章を読み、下線部(1～9)に対応する設問(1～9)に答えなさい。

ベネディクト・アンダーソンは著書『想像の共同体——ナショナリズムの起源と流行』のなかで、ナショナリティとナショナリズムを文化的人造物と表現し、ネーションを、イメージとして心に描かれた想像の政治的共同体と定義する。では、国民意識、国民国家、ナショナリズムはどのように生成され、その意義はどのように変容したのだろうか。

主権国家体制は、17世紀のヨーロッパにおいて確立された。その一方で、国民意識を醸成する国民国家の理念は、フランス革命を機につくられはじめたといわれる。フランス革命勃発後に国民議会で採択された憲法で国民主権が規定されるとともに、「単一不可分の共和国」という標語が生みだされたように、一元的な国家権力のもとへの国民的団結といった国民国家の理念がかかげられた。この理念は、ナポレオン戦争を契機に、フランス以外の国々に拡大していくことになる。とはいえ19世紀には、多民族で構成される帝国が優勢であった。しかし第一次世界大戦後になると、民族自決権にもとづく独立により、国民国家が新たに誕生するとともに、国民意識が徐々に広がりはじめた。

ナショナリズムを日本語に訳す場合、三つの訳語が使われており、それぞれ次のような内容を含んでいる。他国・他民族の支配下におかれている民族が自立・独立をめざす場合は民族主義、分裂状態にあった民族が国民の統一や近代国家の形成をめざす場合は国民主義、個人を犠牲にしても国家の利益を尊重し、また他国・他民族を侵略してまでも国家の拡大をめざす場合は国家主義という訳語があらわれる。

第二次世界大戦後になると国民国家の数は急増し、それと並行して、国民国家とナショナリズムがもつ排他性が問題視されるようになった。一国内に異なった言語、宗教、歴史、風俗習慣といった文化をもつ少数民族が存在する場合はほとんどであることから、近年もなお国内の少数民族を迫害して内戦を引き起こす国家が少なくない。また国際的にも、たとえば日本と中国あるいは韓国の間でみられるように、歴史認識や領土問題をめぐり、国家間で排外主義的な論争が展開されている。

こうしたなか、世界平和を目的とする国際連合、また、東南アジア諸国連合⁽⁸⁾
(ASEAN)やヨーロッパ連合(EU)といったトランスナショナルな協力体制は、
⁽⁹⁾多文化共生を実現するための役割を担っているといえよう。

設問 1 下線部(1)にかんする以下の記述の空欄 と に当てはまる数字と語句を解答欄に記入しなさい。

ヨーロッパの主権国家体制は、三十年戦争の講和条約である 年の 条約によって確立したといわれる。

設問 2 下線部(2)にかんする以下の記述の空欄 と に当てはまる数字と語句を解答欄に記入しなさい。

国民議会は、身分制議会である から分離して結成された議会であり、フランス最初の 年憲法の制定まで開かれた。

設問 3 下線部(3)にかんする以下の記述の空欄 と に当てはまる語句の正しい組み合わせをひとつ選び、その記号を解答欄にマークしなさい。また に当てはまる人名を解答欄に記入しなさい。

第一次世界大戦に敗れたオスマン帝国は、 条約によって解体の危機に瀕した。そこで は、トルコ人の愛国心に訴えて独立戦争をはじめ、ギリシア軍との戦いに勝利して、 条約の締結に成功した。その後、ギリシアとトルコの間で、強制的に住民交換がなされた。

- A. セーヴル、ジュネーヴ
- B. セーヴル、ローザンヌ
- C. トリアノン、ローザンヌ
- D. トリアノン、ジュネーヴ

設問 4 下線部(4)の例としてドイツ統一があげられる。それにかんする以下の記述のうち正しいものをひとつ選び、その記号を解答欄にマークしなさい。

- A. ドイツは大ドイツ主義にもとづいて統一された。
- B. 1871年にプロイセンを軸とする中央集権国家が成立した。
- C. ビスマルクはドイツ統一以前から「鉄血政策」を開始した。
- D. 三国同盟はドイツ統一と同時に締結された。

設問 5 下線部(5)にかんする以下の記述の空欄 と に当てはまる語句を解答欄に記入しなさい。

1936年にイタリアは を征服し、ドイツは1938年にミュンヘン会談を経て を獲得した。

設問 6 下線部(6)にかんして、第二次世界大戦後にイギリス連邦以外から独立した国はどれか。その記号をひとつ選び、解答欄にマークしなさい。

- A. パキスタン
- B. スリランカ
- C. ビルマ(ミャンマー)
- D. バングラデシュ

設問 7 下線部(7)にかんする以下の記述の空欄 と に当てはまる国名を解答欄に記入しなさい。

1990年代、ユーゴスラヴィアのコソヴォ自治州では、多数派を占める 系住民に対して残虐行為が行われ、また長らく内戦が続いていた では、ツチ族とフツ族の対立が激化して、数十万人の犠牲者が出た。

設問 8 下線部(8)にかんして、以下の記述のうち誤っているものをひとつ選び、その記号を解答欄にマークしなさい。

- A. ASEAN は、国連貿易開発会議 (UNCTAD) の発足後に創設された。
- B. ASEAN は、マレーシア・シンガポール・インドネシア・タイ・フィリピンの 5 カ国で結成された。
- C. ASEAN 発足当初の最重要課題は、貿易の自由化であった。
- D. 東南アジアのすべての国が参加した ASEAN10 が、1999 年に開催された。

設問 9 下線部(9)にかんして、下記の①～④の事象を年代順に並べたものをひとつ選び、その記号を解答欄にマークしなさい。

- ① 単一欧州議定書
- ② ローマ条約
- ③ マーストリヒト条約
- ④ シューマン=プラン

- A. ②-④-③-①
- B. ④-②-③-①
- C. ④-②-①-③
- D. ②-④-①-③

〔Ⅲ〕 次の文章を読み、空欄(ア～カ)に当てはまる語句を解答欄に記入しなさい。また、下線部(1～4)に対応する設問(1～4)に答えなさい。

1820年代のアメリカ政治は、連邦体制を重視する国民共和党(ホイッグ党の前身)と、州権を主張する民主共和党とが、対立していた。アメリカが西部開拓を進めるに従って、民主共和党(1828年に民主党と改名)が優勢となり、1828年の大統領選挙では西部出身のジャクソンが勝利し、東部の資本家には大きな衝撃を与えた。

翌1829年に就任したジャクソン大統領は、公立学校建設などを進めて一般民衆の側に立った政治を展開した。彼は公式な閣議をあまり開催せず、当時著名であったジャーナリストに政府寄りの記事を多く書かせることによって、人気を博すことに成功した。しかし他面で、1830年に 法を成立させて、ミシシッピ川以東に残留する先住民を追放した。

一方、領土問題に目を向けると、第11代大統領ポーク(1845～49年在任)の時、アメリカの領土は一挙に拡大した。太平洋岸コロンビア川流域にあった 州については英米間に協定が1846年に成立し、また との国境は北緯49度線と定められた。その後、1846年にアメリカ＝メキシコ戦争が始まり、1848年にアメリカが勝利して、カルフォルニアなどが割譲された。

南北対立は西部開拓の進行や新州獲得とともに次第に激しくなった。1860年の大統領選挙は、民主党からはブレッキンリッジが、共和党からは が立候補し、後者が勝利した。その結果、1861年になると南部諸州は合衆国からの離脱独立を宣言して を建国、首都をリッチモンドに置き、ジェファソン＝デーヴィスを大統領にたてた。また、1861年4月12日、南軍が連邦軍の守備するサウスカロライナ州チャールストン港にある要塞を砲撃、南北戦争が勃発した。4年以上続いた戦争は、1863年の の戦いを制した北部が最終的に勝利した。しかし、その後も南北対立の余波は続くこととなった。

設問 1 下線部(1)にかんして、ジャクソン大統領と彼の政策としてもっとも適切なものをひとつ選び、その記号を解答欄にマークしなさい。

- A. ジャクソン大統領は、アメリカ合衆国史上最初のカトリック教徒の大統領であった。
- B. ジャクソン大統領は、人種・民族・性別に関わりなく、25歳以上の普通選挙制度を確立した。
- C. ジャクソン大統領は、選挙で勝った党派の者に連邦政府の官職を与え、公務員の交代を可能にした。
- D. ジャクソン大統領は、様々な社会保障制度を構築し、これが後の「大きな政府」の源流となった。

設問 2 下線部(2)にかんして、米国との戦争に敗れた後、メキシコ国内で教会の土地所有を禁止する改革等を進めた大統領は誰か。解答欄に人名を記入しなさい。

設問 3 下線部(3)にかんする記述として誤っているものをひとつ選び、その記号を解答欄にマークしなさい。

- A. この戦争では、地雷、甲鉄艦、有刺鉄線、塹壕などが用いられた。
- B. この戦争は、アメリカ史上最多の犠牲者を出した。
- C. この戦争で使われた大量の中古小銃類が日本に輸入され、戊辰戦争の武器として使用された。
- D. この戦争中にアメリカはアラスカを購入し、その直後に金鉱が発見されて、ゴールド・ラッシュが起こった。

設問 4 下線部(4)にかんする記述として誤っているものをひとつ選び、その記号を解答欄にマークしなさい。

- A. 南北戦争を契機に奴隷解放が行われたが、解放黒人の投票権は 20 世紀になって初めて実現した。
- B. 白人集団の中には暴力的手段によって黒人を排除しようとする運動も生じた。南部で拡大したクー・クラックス・クラン(K・K・K)はその代表的集団である。
- C. 南北戦争後も、ジム=クロウという白人と黒人とを分離する部屋や座席を設ける政策が続けられた。
- D. 南北戦争後においても白人による黒人への差別は継続し、第二次世界大戦後になるとキング牧師は公民権運動を指導した。

〔IV〕 4世紀，ローマ皇帝はキリスト教への態度を変え，最終的にこれを帝国の国教とすることになる。この過程におけるローマ皇帝とキリスト教の関係を，以下の用語をすべて用いて200字以上250字以内で時代順に説明しなさい。なお，解答は横書きとし，カッコや句読点は1マス1文字に数え，また算用数字を用いる場合には1マス2字とする。

アタナシウス，ディオクレティアヌス，ユリアヌス